

【別紙】

○JADE2 の開発背景

国立研究開発法人水産総合研究センター日本海区水産研究所は、日本海全域を対象とした JADE を開発し、その結果を利用して日本海の海況予測や重要水産資源であるスルメイカやズワイガニ等の資源の変動要因の解明、大型クラゲの出現予測等を進めてきました。一方で、マアジ等、東シナ海で生まれて日本海に回遊する重要水産資源の変動要因を明らかにするためには、日本海と東シナ海の海況を同時に把握する必要がありました。そのため、日本海と東シナ海の双方を含む海況予測システムの構築が求められていました。

○JADE2 の特徴

JADE2 は、九州大学応用力学研究所で開発された日本近海の海況予報モデルを改良し、水産試験研究機関の船舶観測データを導入した海況予測システムです。海洋流動シミュレーションモデルに水産試験研究機関が実施している調査船観測データや気象衛星による観測データ等を反映させることにより、現在までの海況（水温・塩分、流れの方向と強さ）を高精度に再現するとともに、3ヶ月先までの予測計算を行います。

JADE2 では、対象海域を東シナ海まで拡張したことによって、東シナ海と日本海をまたいで海況を予測することが可能となりました。一方、日本海の水温に関しては、JADE よりも再現性が向上しています。

○JADE2 のホームページから利用できる情報

JADE2 のホームページ (<http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/> : 図1) では、水温・塩分・流れについて 1993 年から現在までの再現結果、そして3ヶ月先までの予測結果を1日毎に表示することができます(図2~4)。また、選択した日付から2週間先までの結果をアニメーションでご覧いただけます(図5)。



図1 公開ページのトップ画面
[\(http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/\)](http://jade2.dc.affrc.go.jp/jade2/)

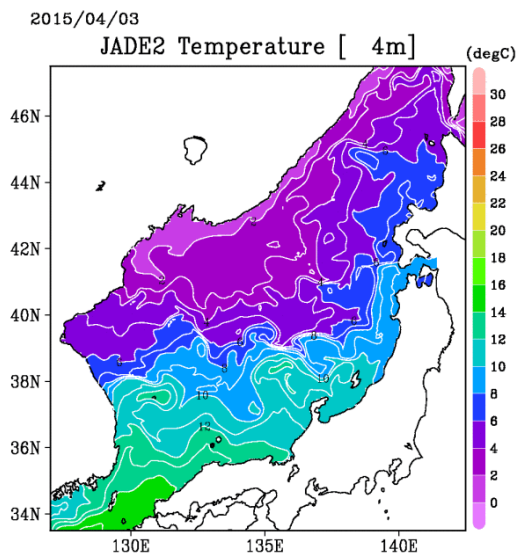


図2 水温の水平断面図の表示例

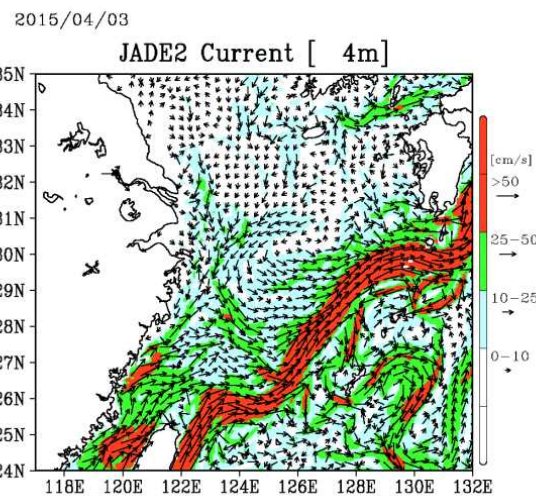


図3 流れの水平断面図の表示例

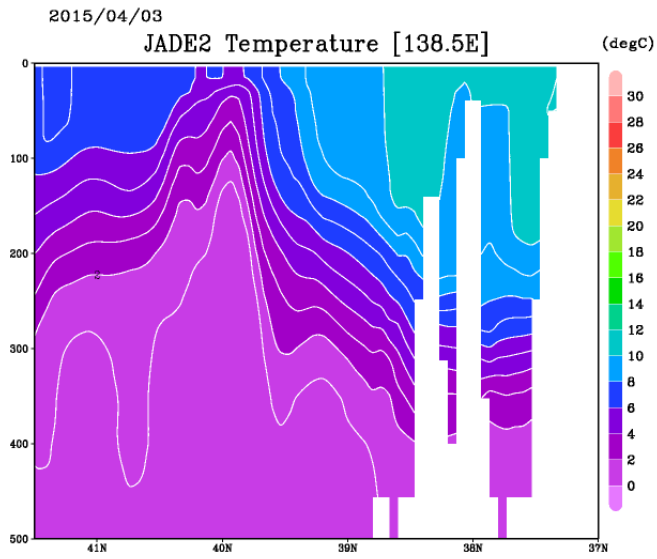


図4 水温の鉛直断面図の表示例
(白抜き部分は海底)

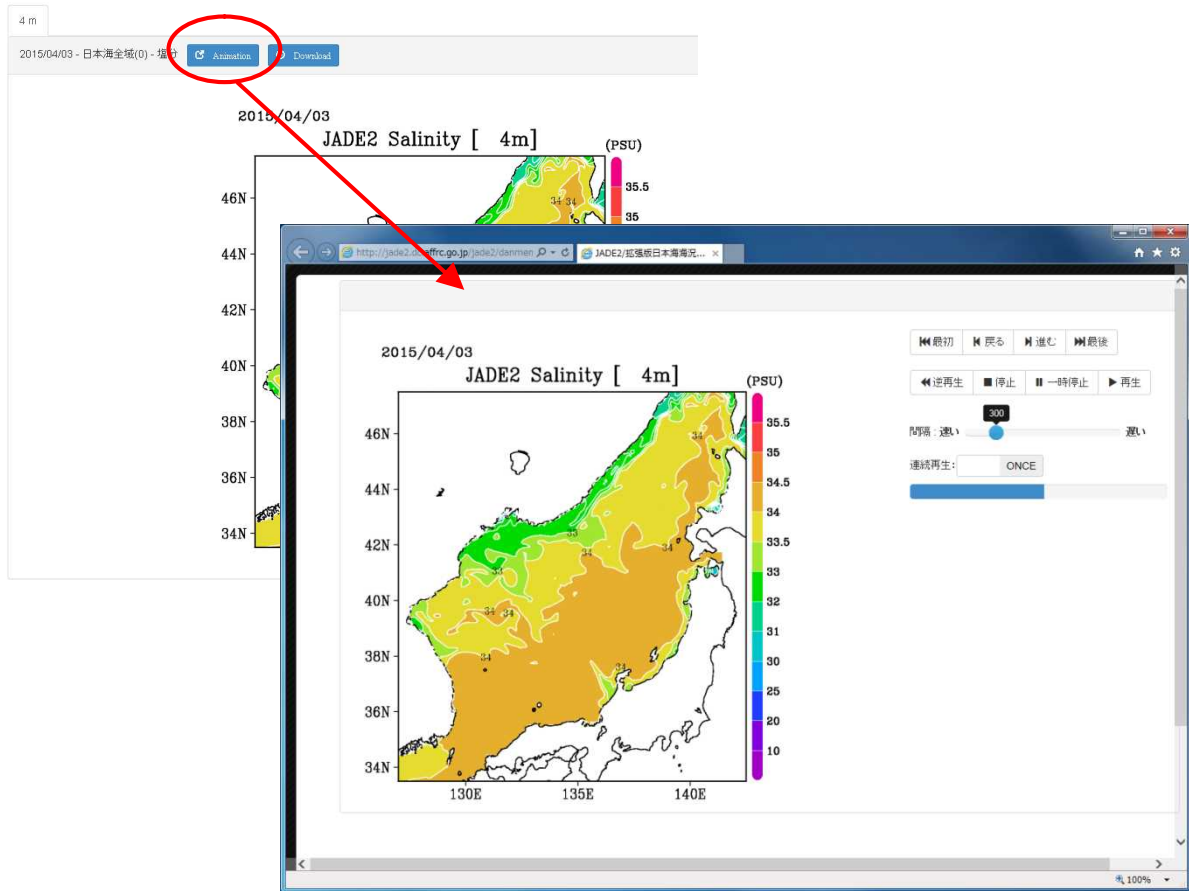


図5 塩分の水平断面図のアニメーション画面表示例